



レポートの時刻および日付

WebView レポートのデータを正しく解釈するためには、レポート ユーザは日付形式と時刻値、およびこれらの値が基準とするタイムゾーンについて理解しておく必要があります。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「[WebView レポートにおける日時の形式](#)」 (P.6-2)
- 「[レポート表示用のタイムゾーン値](#)」 (P.6-2)
- 「[セントラル コントローラのタイムゾーンおよびレポート データ](#)」 (P.6-2)
- 「[WebView AW の時刻同期の確認](#)」 (P.6-3)
- 「[時刻およびタイムゾーンの依存関係](#)」 (P.6-4)
- 「[日付形式の設定方法](#)」 (P.6-6)
- 「[混合言語インストール環境での日付および日付範囲](#)」 (P.6-7)
- 「[国際日付形式のリスト](#)」 (P.6-8)

WebView レポートにおける日時の形式

WebView でレポートが生成された場合、[日時] 値は次の 3 箇所に表示されます。

- 履歴レポートが対応する日時範囲を示すレポート ヘッダー内。
- レポート データ内。
- レポートの実行時刻を示すレポート フッター内。

レポート表示用のタイム ゾーン値

レポートを正しく表示して理解するためには、レポート ユーザは、次の 3 つのタイム ゾーンについて理解しておく必要があります。

- レポートユーザのタイム ゾーン
- WebView サーバのデータ受信元である AW のタイム ゾーン
- セントラル コントローラのタイム ゾーン

セントラル コントローラのタイム ゾーンおよびレポート データ

ICM/IPCC Enterprise では、データはセントラル コントローラと通信する PG および NIC によって生成されます。

データが Logger によってセントラル コントローラ データベースに、またはディストリビュータ AW によってリアルタイム データベースや履歴データベースに書き込まれた場合、日時の値はすべてセントラル コントローラのタイム ゾーンに変換されます。

したがって、データベース内のデータはすべて、セントラル コントローラのタイム ゾーンが基準になります。



(注)

データベース内のデータはすべてセントラル コントローラのローカル時刻で書き込まれるため、WebView で行われたレポートイングはすべて、セントラル コントローラの時刻を基準にする必要があります。たとえば、ユーザが履歴レポートの日時範囲を選択する場合、セントラル コントローラのタイム ゾーンを基準にしたデータを入力する必要があります。

WebView AW の時刻同期の確認

ディストリビュータ AW サーバの時刻が ICM セントラル コントローラの時刻と同期していることを確認します。

- AW がセントラル コントローラと同じドメイン内にある場合は、時刻は自動的に同期されます。ただし、AW で Windows Time サービスが有効になっていることを確認してください。
- AW が ICM セントラル コントローラとは別のドメイン内にある場合は、NET TIME コマンドを使用して時刻を同期させることもできます。

例: `net time /domain:boston`

AW の時刻がセントラル コントローラの時刻と同期していない場合、レポート実行時間は、レポート内のデータと同期しません。

たとえば、AW の時刻がセントラル コントローラの時刻より 2 分遅れており、レポートが WebView サーバで 10:00 AM に実行された場合、WebView レポートでのレポート実行時刻は 10:00 AM になりますが、レポートデータの時刻は 10:02 AM になります。



注

ICM 同期 (AW では使用不可能、CallRouter と PG では使用可能) は使用しないでください。

デフォルトでは、ICM のセットアップでは (ペリフェラル ゲートウェイ コンポーネントの詳細設定を選択すると表示される [MDS & DMP Properties] ダイアログボックス内で) [Disable ICM Time Synchronization] ボックスが選択されています。詳細については、『*ICM Installation Guide for Cisco ICM Enterprise Edition*』を参照してください。

Time Zone フィールド

[DateTime] フィールドを持つデータベース テーブルの多くには、[TimeZone] フィールドも存在します。

[TimeZone] フィールドは、レコード作成時のセントラル コントローラのタイムゾーンです。このフィールドには、GMT からのセントラル コントローラの時刻のオフセットを指定します。

このフィールドは、夏時間の調整のために使用されます。これにより、「フォールバック」する（秋になると米国の夏時間を 1 時間戻す）際に、Logger がデータベースに重複するキーを書き込まないようにされます。データを生成した PG または NIC のタイムゾーンは、データベースには記録されません。

時刻およびタイムゾーンの依存関係

次の表に、レポートシステムにおける各コンポーネント間の時刻同期およびタイムゾーンの依存関係を、ICM/IPCC システムが正しい時刻を保持しているとみなす Router を基準にして示します。

表 6-1 時刻およびタイムゾーンの同期

コンポーネント	Router との時刻同期	Router とのタイムゾーン同期
Router	同期する	同期する
Logger	同期する	同期する
PG/NIC	同期する	場合による
AW	場合による	場合による
WebView クライアント	場合による	場合による

表 6-1 で、場合によるとは、ICM /IPCC コンポーネントが Router と時刻同期またはタイムゾーン同期する場合があるという意味です。ただし、この原則は強制的に適用されるものではないので、システムが自動的にこのように設定されると想定することは妥当ではありません。

ICM ソフトウェアによる時刻同期の処理方法の詳細については、シスコの Web サイト上の Cisco カスタマー コンタクト ソフトウェア Web ページの「Documentation」セクションから入手可能な『*ICM Administration Guide for Cisco ICM Enterprise Edition*』を参照してください。

PG や NIC がセントラル コントローラと同じタイムゾーンにある必要はありません。また、PG や NIC と Router 間を流れる時刻はすべて、Greenwich Mean Time (GMT; グリニッジ標準時) であるため、タイムゾーンは重要ではありません。

ルーティングを正しく行うには、Router、Logger、PG、および NIC が時刻同期する必要があります。ただし、WebView サーバと WebView クライアントの時刻が数分間ずれていても、レポートユーザは直感的にレポートを理解できます。

日付形式の設定方法

WebView では、Internet Explorer ブラウザの言語設定に従ってレポートの日付形式を設定します。WebView では、サーバ上で 9 つの言語をサポートしています。また、表 6-2 (P.6-8) に示すロケールの日付形式をサポートすることが可能です。

WebView がこれらの言語のいずれも検出しない場合は、デフォルトによりアメリカ英語 (mm/dd/yyyy) の形式が使用されます。

Internet Explorer の言語リストに表示される言語は、実際にはロケールであり、ISO-639 言語コードと ISO-3166 国コードの組み合わせです。

ロケールと日付形式の間のマッピングは、wvLocale.properties ファイル内で、次の形式で定義されています。<ロケール>=<日付形式>

例：De=DD/MM/YYYY

WebView は複数のロケールをサポートしています。表 6-2 に、ロケールと、関連する日付形式の間のマッピングを示します。

Internet Explorer で言語とロケールを設定するには、次の手順に従います。

-
- ステップ 1** ブラウザのメニューで [ツール] > [インターネット オプション] を選択します。
 - ステップ 2** [全般] タブの [言語] ボタンをクリックします。
 - ステップ 3** [追加] をクリックして言語を選択します。
 - ステップ 4** [上へ] ボタンをクリックして、言語の優先順位を並べ替えます。



(注) WebView では、最高の優先順位を持つ言語が日付形式に使用されます。

- ステップ 5** [OK] を 2 回クリックして終了します。
-

混合言語インストール環境での日付および日付範囲

WebView では、クライアントの Web ブラウザから適切な日付形式に言語設定がマップされます。ただし、レポートタイトルの下の日時範囲は常に、WebView サーバで使用される形式で表示されます。

図 6-1 に、イギリス英語で設定された WebView クライアントがドイツ語の WebView サーバにクエリーを送信した場合の日付範囲および日付結果を示します。

図 6-1 WebView サーバで使用される形式での日付範囲

Peripheral Half Hour All Fields Report

From: 14.01.2004 00:00:00 To: 19.01.2004 23:59:00

Enterprise Name	Peripheral ID	DateTime
pg_Boston_1	5000	01/14/2004 20:30:00
pg_Boston_1	5000	01/14/2004 21:00:00
pg_Boston_1	5000	01/14/2004 21:30:00
pg_Boston_1	5000	01/14/2004 22:00:00
pg_Boston_1	5000	01/14/2004 22:30:00
pg_Boston_1	5000	01/14/2004 20:00:00

Run Date: 1/19/04 8:50:16 PM CET
Report name: Untitled Report

混合ロケール環境のユーザは、1つのロケールに標準化することで、レポート内での日付表示方法の矛盾を回避できます。たとえば、ケベックにコールセンターを持つフランスの企業は、すべてのクライアント ブラウザを、dd/mm/yyyy を使用する fr に設定できます (fr-ca に設定すると yyyy/mm/dd が使用されます)。

国際日付形式のリスト

Internet Explorer の言語リストに表示される言語は、実際にはロケールであり、ISO-639 言語コードと ISO-3166 国コードの組み合わせです。

ロケールと日付形式の間のマッピングは、
`\icm\web\webview\reporting\servlet\wvLocale.properties` で、次の形式で定義されています。<ロケール>=<日付形式>

たとえば、`de=DD/MM/YY`

表 6-2 に、WebView でサポートされているロケールと、ロケールと日付形式の間のマッピングを示します。

表 6-2 国際日付形式

ロケール	日付形式	説明
Be	DD/MM/YY	ベラルーシ語
Ca	DD/MM/YY	カタロニア語
Cs	DD/MM/YY	チェコ語
Da	DD/MM/YY	デンマーク語
De	DD/MM/YY	ドイツ語
de_AT	DD/MM/YY	ドイツ語 (オーストリア)
de_CH	DD/MM/YY	ドイツ語 (スイス)
de_LU	DD/MM/YY	ドイツ語 (ルクセンブルグ)
El	DD/MM/YY	ギリシャ語
en	MM/DD/YY	英語
en_AU	DD/MM/YY	英語 (オーストラリア)
en_CA	DD/MM/YY	英語 (カナダ)
en_GB	DD/MM/YY	英語 (イギリス)
en_IE	DD/MM/YY	英語 (アイルランド)
en_NZ	DD/MM/YY	英語 (ニュージーランド)
en_US	MM/DD/YY	英語 (アメリカ)
en_ZA	YY/MM/DD	英語 (南アフリカ)

表 6-2 国際日付形式（続き）

ロケール	日付形式	説明
es	DD/MM/YY	スペイン語
es_AR	DD/MM/YY	スペイン語（アルゼンチン）
es_BO	DD/MM/YY	スペイン語（ボリビア）
es_CL	DD/MM/YY	スペイン語（チリ）
es_CO	DD/MM/YY	スペイン語（コロンビア）
es_CR	DD/MM/YY	スペイン語（コスタリカ）
es_DO	MM/DD/YY	スペイン語（ドミニカ共和国）
es_EC	DD/MM/YY	スペイン語（エクアドル）
es_ES	DD/MM/YY	スペイン語（スペイン）
es_GT	DD/MM/YY	スペイン語（グアテマラ）
es_HN	MM/DD/YY	スペイン語（ホンジュラス）
es_MX	DD/MM/YY	スペイン語（メキシコ）
es_NI	MM/DD/YY	スペイン語（ニカラグア）
es_PA	MM/DD/YY	スペイン語（パナマ）
es_PE	DD/MM/YY	スペイン語（ペルー）
es_PR	MM/DD/YY	スペイン語（プエルトリコ）
es_PY	DD/MM/YY	スペイン語（パラグアイ）
es_SV	MM/DD/YY	スペイン語（エルサルバドル）
es_UY	DD/MM/YY	スペイン語（ウルグアイ）
es_VE	DD/MM/YY	スペイン語（ベネズエラ）
fi	DD/MM/YY	フィンランド語
fr	DD/MM/YY	フランス語
fr_BE	DD/MM/YY	フランス語（ベルギー）
fr_CA	YY/MM/DD	フランス語（カナダ）
fr_CH	DD/MM/YY	フランス語（スイス）
fr_LU	DD/MM/YY	フランス語（ルクセンブルグ）
hr	YY/MM/DD	クロアチア語
hu	YY/MM/DD	ハンガリー語

表 6-2 国際日付形式（続き）

ロケール	日付形式	説明
is	DD/MM/YY	アイスランド語
it	DD/MM/YY	イタリア語
it_CH	DD/MM/YY	イタリア語（スイス）
ja	YY/MM/DD	日本語
ko	YY/MM/DD	韓国語
nl	DD/MM/YY	オランダ語
nl_BE	DD/MM/YY	オランダ語（ベルギー）
no	DD/MM/YY	ノルウェー語
pl	YY/MM/DD	ポーランド語
pt	DD/MM/YY	ポルトガル語
pt_BR	DD/MM/YY	ポルトガル語（ブラジル）
ro	DD/MM/YY	ルーマニア語
ru	DD/MM/YY	ロシア語
sk	DD/MM/YY	スロバキア語
sl	YY/MM/DD	スロベニア語
sq	YY/MM/DD	アルバニア語
sr	YY/MM/DD	セルビア語
sv	MM/DD/YY	スウェーデン語
tr	DD/MM/YY	トルコ語
uk	DD/MM/YY	ウクライナ語
zh	YY/MM/DD	中国語
zh_CN	YY/MM/DD	中国語（中国）
zh_HK	YY/MM/DD	中国語（香港）
zh_TW	YY/MM/DD	中国語（台湾）